

道北地区大会概要

7月31日水曜日に、北海道小平高等養護学校を会場として、第41回道北地区研究大会（小平大会）兼北海道小平高等養護学校公開研修会が開催されました。道北地区の特別支援学校を中心に総勢125名の参加者が集まり、日頃の実践発表や情報交流を通して、学びを深めることができました。

午前中は、4つの部会が行われました。教科指導部会では、旭川高等支援学校と雨竜高等養護学校から自立や社会参加に向けた教育内容や授業改善の取り組みについて話題提供がありました。生活単元学習部会では、鷹栖養護と東川養護から学部に応じた授業実践と子ども自身が学習目標を知り、成果と課題を振り返る授業について話題提供がありました。作業学習部会では、教科横断的な指導や地域の教育力を生かした取り組みなどについて話題提供がありました。日常生活の指導部会では、子どもの主体性を引き出すための指導・支援、また寄宿舎指導員の視点から、一人一人の生きる力につながる支援についての話題提供がありました。どの部会も話題提供後に小グループに分かれて、協議を行いました。



午後からの全体講演では、小平町出身で現名寄市特別参与 スポーツ振興アドバイザーの阿部雅司氏を講師に迎え、「どん底からの金メダル〜つらい時こそ笑顔で〜」の演題で講演をしていただきました。学生時代の恩師との「出会い」や今まで関わってくれた人たちへの「感謝」の大切さについて、また、挑戦し続けることが重要であり、チャレンジしないことは後退しているのと同じことだと話されていました。



開催にあたりまして、阿部様並びに各部会の助言者、話題提供の先生方をはじめ、道北地区の特別支援学校、小学校、中学校、高等学校、福祉事業所から参加された方々の御協力のもと、無事に終えることができたことを感謝いたします。ありがとうございました。

道北地区大会事務局